

報道関係者 各位

2022. 1. 21
< 配信枚数2枚 >

わかりやすい文章、作家視点で解説
サイエンス・ライティング講座（実践編）無料開催【全6回】
配信日：2022年2月1日、4日、8日、11日、15日、18日

立命館大学 COI アクティブ・フォー・オール拠点（滋賀県草津市）は、どなたでも無料で受講できる「サイエンス・ライティング講座（実践編）」を2月1日よりオンラインで開講いたします。

本件のポイント

- 2021年5月に開講したサイエンス・ライティング講座（入門編）に続くシリーズ
- 作家やライターの思考や文章作成術を無料で学べる
- 自分の思いや考えを、文章でわかりやすく伝えるコツを学べる
- 作家志望者、文章力を向上したい方々にオススメ

サイエンス・ライティング講座は、「自分の思い・考えを、文章でわかりやすく伝えるためのコツを学べる」全6回の講座です。「第24回日本ミステリー文学大賞新人賞」を受賞した、作家で立命館大学総合科学技術研究機構助教の茜灯里（あかね あかり）がナビゲーターを務めます。2021年5月に開講した「入門編」では、多くの方々が「伝える」ことの楽しさを学びました。

「実践編」となる今回の講座では、作家やライターの方々をゲストに迎え、実際に文章を書きながら、作家視点で文章術を発信します。また、ゲストの方々には、デビューに至った経緯や成功の秘訣などもお話いただく予定です。本講座を通して、文章を書くのが苦手な方、伝え方のポイントを学びたい方、レポートや報告書を効果的に書きたい方などが実践的に学び、自分の思い・考えを発信するきっかけになれば幸いです。

■サイエンス・ライティング講座（実践編）概要

配 信 日 : 2月1日、4日、8日、11日、15日、18日（各回 18:00～18:45）

開 催 形 式 : Zoom ウェビナー ※ライブ配信のみ

ナビゲーター : 茜 灯里（立命館大学総合科学技術研究機構 助教）

ゲスト講師 : 五十嵐 大氏、馳月 基矢氏、近藤 雄生氏、鈴木 輝一郎氏

（プロフィールは別紙をご覧ください）

対 象 : 学生・研究者・広報担当者など、どなたでも受講していただけます。

参 加 費 : 無料（事前登録制）

申 込 方 法 : 以下の URL からお申し込みください。

http://www.activeforall.jp/science_writing/

※詳細は別紙をご覧ください。

本リリースの配布先： 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ**●取材・内容についてのお問い合わせ先**

立命館大学 BKC リサーチオフィス 担当：成瀬・西川

TEL. 077-561-2631 Email. coi-info@st.ritsumei.ac.jp

別紙

■サイエンス・ライティング講座(実践編)スケジュール

日程	講師(敬称略)	内容
2月1日(火)18:00~18:45	五十嵐 大	ゲスト講師にデビューに至った成功の秘訣や文章術を語っていただきます。
2月4日(金)18:00~18:45	馳月 基矢	
2月8日(火)18:00~18:45	近藤 雄生	
2月11日(金)18:00~18:45	鈴木 輝一郎	
2月15日(火)18:00~18:45	茜 灯里	ナビゲーターが、ゲスト講師が披露した文章術をまとめます。
2月18日(金)18:00~18:45	ゲスト総出演	受講生からいただいた質問に4人のゲスト講師がお答えします。

※内容は変更になる場合がございます。

■ナビゲータープロフィール

元朝日新聞記者。博士(理学)・獣医師。科学ジャーナリストとして、2003年「ニュートリノ」(東京大学出版会)、2007年「科学ジャーナリストの手法」(化学同人)等を分担執筆。2020年、第24回日本ミステリー文学大賞新人賞を受賞。「馬疫」(光文社)で小説家デビュー。現在は Newsweek 日本版 WEB で科学コラム「サイエンス・ナビゲーター」を毎週連載中。立命館大学教員。

【ナビゲーターのコメント】

どんなシチュエーションでも伝えるためには「言葉を組み立てること」が必要になります。文章の基礎を学び、届けたい読者を明確に想定できれば、伝える力は向上します。人に伝わる文章を科学的に説明する「サイエンス・ライティング講座(実践編)」。科学トピックスなどを使いながら、皆様と共に楽しく講座を進めてまいります。

■ゲスト講師プロフィール

【五十嵐 大(いがらし だい)】

1983年、宮城県出身。両親がろう者である、CODA(Children of Deaf Adults)として生まれた。2015年、フリーライターに。2020年10月、エッセイ『しくじり家族』(CCCメディアハウス)でエッセイストとしてデビュー。2021年2月、『ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと』(幻冬舎)を刊行。

【馳月 基矢(はせつき もとや)】

1985年、長崎県五島列島出身。2020年、書き下ろし時代小説『姉上は麗しの名医』(小学館)でデビュー。同作は第9回日本歴史時代作家協会賞・文庫書き下ろし新人賞を受賞。2021年の著作は『帝都の用心棒血刀数珠丸』(小学館)、『拙者、妹がおりまして(1)-(3)』(双葉社)、『伏竜(ふくりょう)蛇杖院かけだし診療録』(祥伝社)の5冊。

【近藤 雄生(こんどう ゆうき)】

1976年東京生まれ。東京大学工学部卒、同大学院修了。主に、ノンフィクション、サイエンス、エッセイ、書評などを執筆。京都芸術大/大谷大/放送大 非常勤講師、理系ライター集団「チーム・パスカル」メンバー。

【鈴木 輝一郎(すずき きいちろう)】

1960年生まれ。1991年デビュー。1994年日本推理作家協会賞受賞。歴史小説『光秀の選択』など著書多数。主宰する鈴木輝一郎小説講座は、通算13年で18人のプロデビュー実績を誇る。